



新しいSSHが始まります。



海南高校SSH
キャラクター
(みかんと黒江
漆器がモチーフ)

カイくん ナンちゃん

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これから高校生活が始まります。張り切っていきましょう！二・三年生の皆さんも教室やクラスメイトが変わり、新しいスタートをきっているかと思います。

海南高校のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)も新たに文部科学省から指定を受けることになりました。今回の指定で海南高校は第4期を迎え、平成29年度から平成33年度までの5年間、SSHの活動を行うことになりました。

まず、SSHとは「スーパーサイエンスハイスクール」の略称で未来を担う科学技術系人材の育成を目標に、文部科学省から指定を受けて行われている取り組みです。海南高校は平成16年に最初のSSHの指定を受け今年で14年目になります。その中で、教養理学科・普通科理系・科学部の先輩たちを中心に全校生徒を挙げて、様々な研究や行事に取り組んできました。第4期のSSHでは和歌山の優れた資源(研究機関・企業・自然など)を活用して、地域の人材育成を目標に新しい活動を加えていきたいと考えています。

今年度も、海南高校の特色の一つであるSSHの活動について、このSSHマンスリーで紹介していきたいと思ひます。

○海南高校でのSSH事業

右の図を見て分かるように、主なSSHの活動には、**ACS(Active Creation for Society)活動「風」を学ぶ**、**SITP(Science Instructor Training Program)・課題研究**、**SSI(Student Science Instructor)活動**、**特設課外授業**があります。



(海南高校 第4期SSH構想図)

ACS活動(「風」を学ぶ)は、1年生での総合的な学習「風は緑に」で自分たちの将来を考えるキャリア教育を実施し、地元の企業から話を聞くことで地域のことを知り、身近にある科学技術に触れることができます。

SITPは2年生の教養理学科と、普通科理系の生徒が対象となっている授業です。何人かのグループをつくり、担当の先生と研究を行います。9月の文化祭ではすべてのグループがポスター発表が行われます。また、年度末には校内での成果発表会を予定しています。

SSI活動は科学部で行われている活動の一つで、高校生が小学生・中学生を相手に科学実験教室を開くというものです。活動に興味があり、参加してみたいという人は、科学部まで声をかけてください。

特設課外授業は、普段は行くことのない大学や研究所などを訪れ研修を行います。1・2年生全生徒から希望者を募るものもありますので、ぜひ参加して下さい。

今後の予定

- 4月27日 臨海実習 和歌山市加太海岸 (1年全員)
- 7月下旬 夏季特設課外授業 近畿大学原子力研究所 (1年 教養理学科)